

資料提供(投げ込み) 令和4年3月15日(火)	
場所 津市政記者室	
事務担当課	
所 属	職・氏 名
商工観光部 観光振興課 (電話059-229-3170)	観光振興課長 川原田 吉光

『ポケふた』の設置について

三重県と株式会社ポケモンとの連携した取組の一環として、株式会社ポケモンから令和4年3月10日、県内7市(四日市市、津市、伊勢市、鳥羽市、志摩市、伊賀市、熊野市)に『ポケふた』(ポケモンがデザインされたマンホール蓋)が寄贈されました。

本市が寄贈を受けた『ポケふた』を津市まん中広場に設置します。

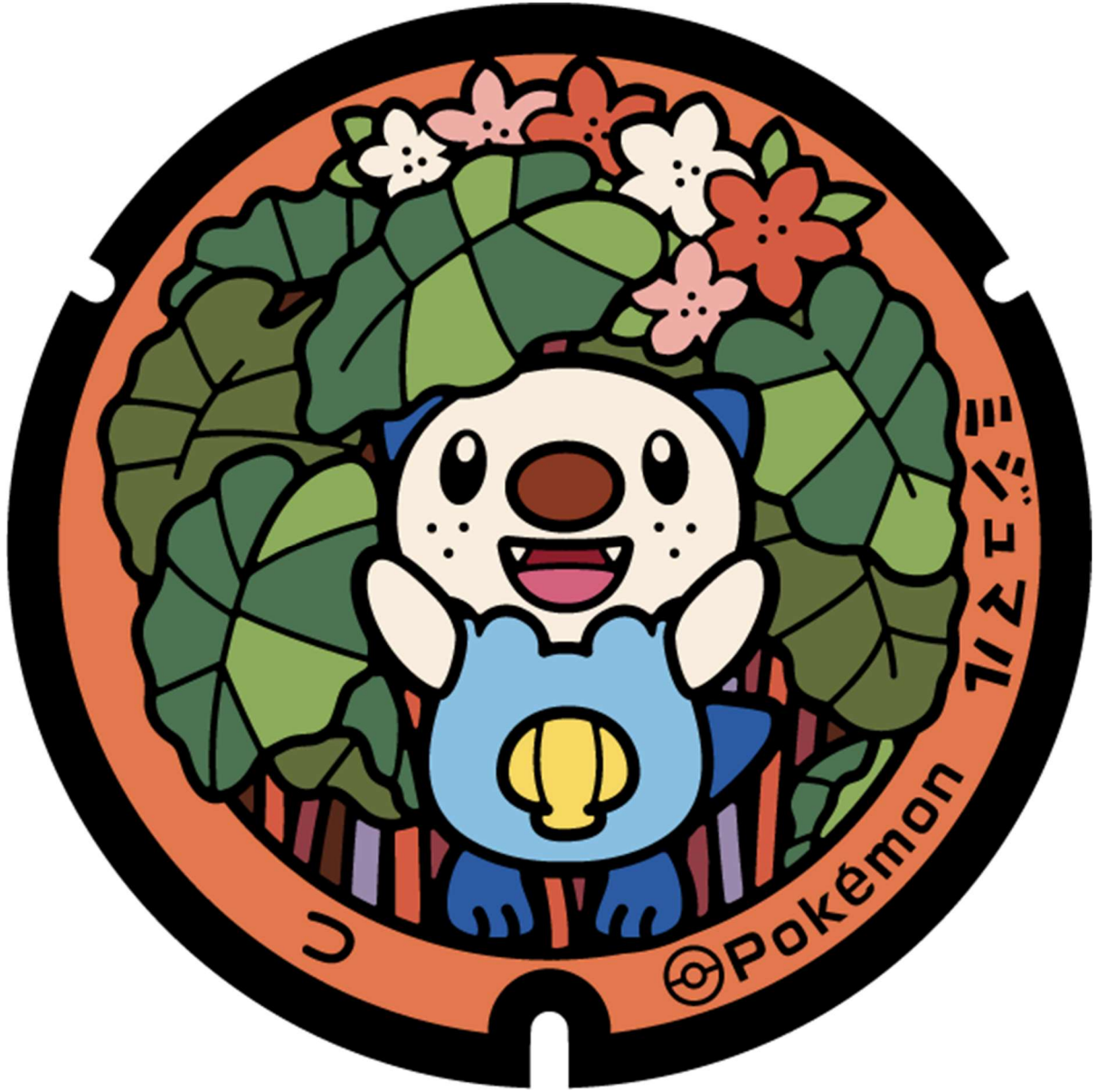
記

- 1 設置日時 令和4年3月18日(金)正午頃
- 2 設置場所 津市まん中広場(津市大門7-4)
- 3 設置物 津市に寄贈された、みえ応援ポケモンである「ミジュマル」が描かれた『ポケふた』を設置

※その他、詳細は別紙参照

本市に設置される『ポケふた』

- ・みえ応援ポケモンの「ミジュマル」と、津市特産で、みえの伝統野菜にも選定されている「芸濃ずいき」や市の花「ツツジ」をイメージしたデザインとなっています。



©2022 Pokémon. ©1995-2022 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémon は任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

『ポケふた』の設置について

商工観光部観光振興課

○三重県と株式会社ポケモンとの取組について

令和3年12月21日、三重県と株式会社ポケモンは、三重県の活性化に連携して取り組むことを目的に包括連携協定を締結し、以下の内容を発表。（協定期間は令和3年12月21日～令和8年3月31日）

- 三重が「ミジュウ」とも読め、「ミジュマル」の名前と親和性がある他、ミジュマルはおなかに貝のような見た目の「ホタチ」を持つ特徴から、真珠貝（アコヤガイ）や牡蠣など貝類をはじめとした海の幸にも恵まれている三重県をPR・応援するにはぴったりのポケモンとして「みえ応援ポケモン」に「ミジュマル」が就任。
- 令和4年1月17日から、ミジュマルデザインにラッピングされた電車「ミジュマルトレイン」が近鉄 伊勢中川駅～賢島駅を中心に走行。
- ミジュマルトレインの運行に合わせ、近鉄 鳥羽駅の一部においても、ミジュマルで装飾。
- 三重県産品とミジュマルがコラボした、ご当地コラボ商品を令和4年1月28日から発売。市内ではおぼろタオルのガーゼタオルとガーゼハンカチとのコラボ商品を発売
- 株式会社ポケモンから希望があった県内各市町へ『ポケふた』を順次寄贈。
- 「三重県×ミジュマル」特設サイトや公式 Twitter にて、「三重県×ミジュマル」のさまざまな取組について発信。
「三重県×ミジュマル」特設サイト：<https://www.kankomie.or.jp/special/pokemon/>
公式 Twitter：@mieken_mijumaru

○「ポケふた」について（現在の全国の寄贈枚数242枚）

- 平成30年12月に鹿児島県指宿市に「イーブイ」のマンホールが設置されたのを皮切りに、現在、24都道府県に242枚の『ポケふた』が寄贈され、多くの方が『ポケふた』巡りを楽しんでいます。
- 『ポケふた』は、ポケモンの魅力と各地域の魅力を知っていただくことを目的に、一枚一枚オリジナルでデザインされ、それぞれ世界に一つだけのマンホールとして全国各地に設置されています。
- 設置された『ポケふた』は、順次スマートフォン向け位置情報ゲーム『Pokémon GO』の「ポケストップ」になる予定です。

○本市としての『ポケふた』の活用

- 津市に寄贈された『ポケふた』は、津市とミジュマルの魅力がぎゅっと詰まっているため、たくさんの方々に『ポケふた』とともに、津市の魅力を感じていただきたい。今後は『Pokémon GO』の「ポケストップ」となることから、市内外問わず多くの方々に訪れていただけるスポットとなることが見込まれるため、SNSを通じた周辺観光・グルメ観光につなげていきたい。